

2013年(平成25年)度事業報告及び決算報告

1. 事業活動実績

- 小田原地域(小田原市・湯河原町・真鶴町・箱根町)で暮らす精神障害者等が自立した生活を営み、社会復帰と社会参画を促進するための事業を行った。
- 障害者自立支援法により3障害の一元化が図られているが、精神障害者の取り組みが遅れている現状を踏まえ、小田原なぎさ会の会員の確保及び拡充を図った。
- 神奈川県指定NPO法人(神奈川県が条例において個別に指定するNPO法人)に3月25日付けで指定された。

* 総会・理事会・なぎさ会通信編集会議等の開催

- (1) 特定非営利活動法人 小田原なぎさ会の通常総会を5月24日(金)に小田原なぎさ作業所(以下、作業所と記載)にて開催した。
- (2) 理事会を開催し当会の運営及び各事業について協議し、会運営と事業の推進に努めた。(開催日:4/15、9/9、3/17)3回
- (3) 小田原なぎさ会通信の編集会議を開催し、広報活動推進の核としての会報の充実を図った。(開催日:6/28、1/17)2回

2. 事業内容

①地域ネットワーク事業

- 関係機関の方々を招集し、地域ネットワーク会議を開催した。
 - ・ 内 容 医療機関、福祉機関、行政機関、地域住民等の方々に参加していただき地域福祉の推進に向けたネットワーク会議を開催した。
 - ・ 日 時 年3回 (5月24日、9月9日、3月17日)
 - ・ 場 所 NPO法人小田原なぎさ会 作業所
 - ・ 従 事 者 10名程度

②地域拠点事業

- 精神障害者一人ひとりの障害の程度や特質に応じた自立(自律)促進を推進した。
 - ・ 内 容 個別面談を通して、一人ひとりの目標を確認し、個別に最適な支援計画を作成して、自立助長のための指導・助言を行った。
 - ・ 日 時 235日
 - ・ 場 所 NPO法人小田原なぎさ会 作業所
 - ・ 従 事 者 10名程度

③地域交流事業

- 富士見地区防災訓練に初めて参加するとともに、これまで通り夏祭り等地域行事へ参加した。また、作品展開催や広報誌の地域配布を開始するなど、地域との交流を更に深めた。
 - ・ 内 容 防災訓練、夏祭り、体育大会、書道作品展、ハートフェスタ等に参加した。また、なぎさ会活動の周知・理解、そして協働を求めて広報誌「小田原なぎさ会通信」の富士見地区全世帯回覧を開始した。
 - ・ 日 時 年7回
 - ・ 場 所 各々開催場所及び関係機関へ配布
 - ・ 従 事 者 10名程度

④ホームページの活用

- ・ 内 容 情報発信機能を高めるためホームページのリニューアルを推進したが、今年度は未達に終わった。H26年5月末公開を目指し、引き続き推進する。
- ・ 日 時 常時
- ・ 場 所 NPO法人小田原なぎさ会 作業所
- ・ 従 事 者 数名程度

⑤行政との懇談会の開催、陳情活動(平成26年度要望書提出:梅の会と連名)

- ・ 内 容 精神障害者とその家族の困難な状況について市民への理解を深める為の施策、障害者福祉計画の推進及び福祉予算の充実について行政に陳情、懇談会等を開催した。
- ・ 日 時 10月29日
- ・ 場 所 小田原市役所
- ・ 従 事 者 5名程度

⑥関連機関・団体との連携に関する事業

ア. 市作連との交流事業

- ・ 内 容 小田原市障害者地域作業所連絡会(市作連)へ参加し、3障害の関連する地域作業所との協力、交流、連携を図った。
- ・ 日 時 年 12回
- ・ 場 所 小田原市周辺
- ・ 従 事 者 10名程度

イ. 小田原地区精神保健福祉会「梅の会」との交流事業

- ・ 内 容 共同開催した「SST研修会」はじめ、月例会・総会に適時参加し、協力、交流、連携を図った。
- ・ 日 時 随時
- ・ 場 所 小田原市周辺
- ・ 従 事 者 その都度数名程度

ウ. 精神障害者の相談支援事業所生活サポートセンター「やすらぎ」との交流事業

- ・ 内 容 「やすらぎ」の諸活動に参加し、協力、交流を深めた。
- ・ 日 時 毎月第3週金曜日16時～18時他
- ・ 場 所 小田原市、湯河原町、箱根町周辺
- ・ 従 事 者 数名程度

